



令和6年能登半島地震について

年明け早々の「令和6年能登半島地震」において犠牲になられた方、被災された方へのお悔やみとお見舞いを申し上げます。私たちが13年前の経験を思い出し、当時、国内外の多数の皆様方からのご支援をいただき復興の道を歩んできたことを重ねています。そして、1日も早い、復旧・復興を願い、義援金への協力、募金活動の呼び掛けをいたしております。

新年度に布田えみが議会で提案した事業が実現します！

議会で提案してきた「岩沼の全ての子ども達へ完全給食実施」、米飯無償提供、この春から実現します。「こども・子育て支援パッケージ事業」として、保育所(園)で行い、保護者負担の軽減につながりますね。美味しい岩沼産のお米、沢山食べて健やかに育てほしい、と願っています。



実現した提案

初 仙台市郊外の自治体では初

保育料の第2子以降の無償化

初 階層区分等に関わらず、第2子以降の保育料を免除。

3歳以上児への米飯無償提供

初 保護者の負担軽減を図るため、米飯を公立保育所で無償提供。私立保育園も準備が整い次第、順次スタート。

ハナトピア岩沼リニューアル

※令和8年度開園予定

こどもの遊び場も備えた施設にリニューアル。

地域のみなさんの願いが実現しました！

「横断歩道の安全確保のために成長しすぎた街路樹をなんとかしてほしい」というお声をいただき、昨年の11月の一般質問にて産業道路(二木地区)の街路樹に関して質問し、早急に対応していただき、見通しが改善された横断歩道。引き続き安全に通行いたしましょう。

街路樹の影に人がいるのが見えますか？



街路樹が横断歩道の前にあり歩行者が立っているのが見えづらい状況。左の写真は、実は街路樹の後ろに横断しようとしている人がいます。

街路樹を伐採し見通しが良くなった横断歩道



街路樹を伐採したことにより横断歩道の見通しが良くなりました。



防災について 2月20日一般質問

今回の一般質問では、2008年から活動する防災士の1人として、能登半島地震復旧活動からの課題、避難所対策などを取り上げています。特に、トイレ問題については被災された方の健康を保つために工夫や備えなど、欠かせぬ備えであります。岩沼においても仮設トイレ（給排水が故障すると通常のトイレは使用不可）備蓄に関してや再確認しておかなければならない対応などを取り上げました。

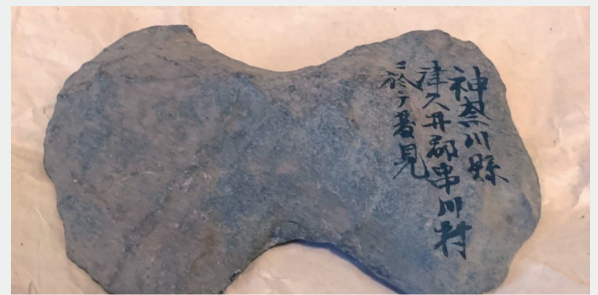
ご存知の様に、今年1月、政府の地震調査委員会は、『宮城県沖を震源とするマグニチュード7クラスの大地震について、30年以内に発生する確率を「70%から90%」』に引き上げました。「備えよ、常に」を忘れずにいましょう。

市民皆さんからのご相談案件も多岐に渡っています！

年明け早々のご相談案件は「考古遺物」

大正初期の圃場整備事業現場で出土した石器類の対応について、でした。市内在住の方が祖父から受け継いだもの、「学習資料に役立ててほしい」とのご相談。御年80歳を迎える方の祖父ということです。

ご存命なら140~150歳？
教育委員会文化財保護係の職員
さんに画像をお見せしたところ



もしかすると
縄文時代!?

次世代につなぐ、古人の息吹

「文化財の散逸を防ぐという観点から、該当する自治体の文化財担当部署に連絡してみたいと思います。」

それがきっかけで、引受先が決まりました。

神奈川県相模原市と福島県郡山市。

それぞれの自治体のしかるべき所に収蔵、活用いただくことになりました。所有者の方から、「まさか、こんな展開になるなんて、驚きました。」ご尽力下さった担当者さんに深く感謝いたします。

古人の息吹が、次の世代にも伝わっていけるであろうこと、私も嬉しく思います。

市民皆さまが安心・安全に暮らせる岩沼のために、
皆さまのお声をどうぞ、布田えみにお寄せ下さい。

年末の選挙戦では皆様からのお力添えにより、布田えみ新たな任期5期目がスタート。今期は、「岩沼市議会建設産経常任委員会副委員長」「ICT化推進特別委員会委員長」「亘理名取共立衛生処理組合議会議員、議会運営委員」を拝命いたし、精一杯に日々の活動に向き合っています。「まちづくり」に関して、地域の課題に関して、お気づきのことなどありましたら、どうぞお知らせ下さい。

相談窓口はぐくみの部屋 開設中

岩沼市議会議員 布田えみ事務所
〒989-2448 宮城県岩沼市二木1-4-1-17
TEL:0223-22-0982 FAX:0223-22-0896